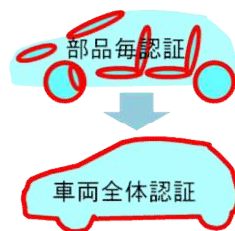


# 国際的な車両認証制度(IWVTA※)の実現

(※IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

## 1. IWVTAの概要と期待される効果

○1958年協定に基づく自動車に係る認証の相互承認を「装置単位」から、「車両単位」へ発展する制度。



○基準調和及び認証の相互承認により、設計仕様の統一や部品の共通化を通じて、開発・認証・生産コストが低減。

### IWVTAのメリット



ユーザー

■ 適正な価格でのより安全で環境にやさしい自動車の利用

自動車メーカー等事業者

- 部品共通化によるコストの削減
- 各国毎の基準に合わせた開発時間の削減
- 各国毎の認証手続きに係わる費用や時間の削減
- さらなる安全・環境技術の開発に注力

行政機関

- 基準調和により、高度な安全・環境基準が国際的に普及
- 審査作業の効率化
- 新興国等における車両型式認証制度の整備促進

## 2. 経緯と今後の展望

- |               |  |
|---------------|--|
| 2007年 11月     | 国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)においてIWVTA創設を提案。 |
| 2009年 11月     | IWVTA創設の提案を満場一致で可決。                    |
| 2014年 3月～11月  | IWVTAの対象となる基準など具体的枠組みを集中的に議論。          |
| 2015年 3月      | IWVTA実施に必要な手続き等を定めた規則(UNR0)案を大筋合意。     |
| 2015年 6月      | UNR0公式文書案及びIWVTAの解説資料をWP29に提出。         |
| 2015年 11月     | UNR0案精査のためのプレテストを2016年6月まで実施することで合意。   |
| 2016年 3月      | IWVTAを各国内制度との関係を解説した資料を提案。             |
| 2016年 6月      | プレテストの主要な結果及びそれに基づくUNR0の改正案を提案。        |
| 2016年 11月(目標) | UNR0最終案(非公式文書)を提出。                     |

**2018年1月のIWVTA創設**